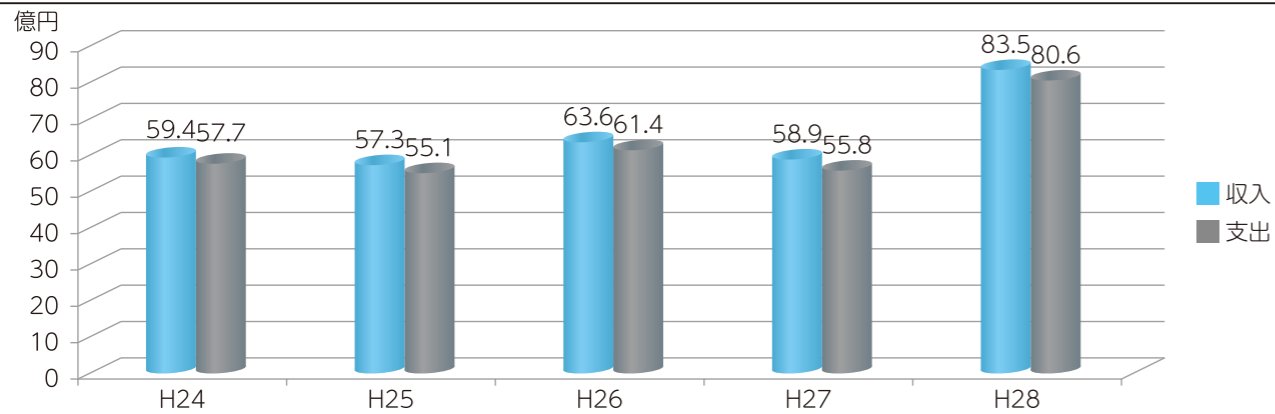


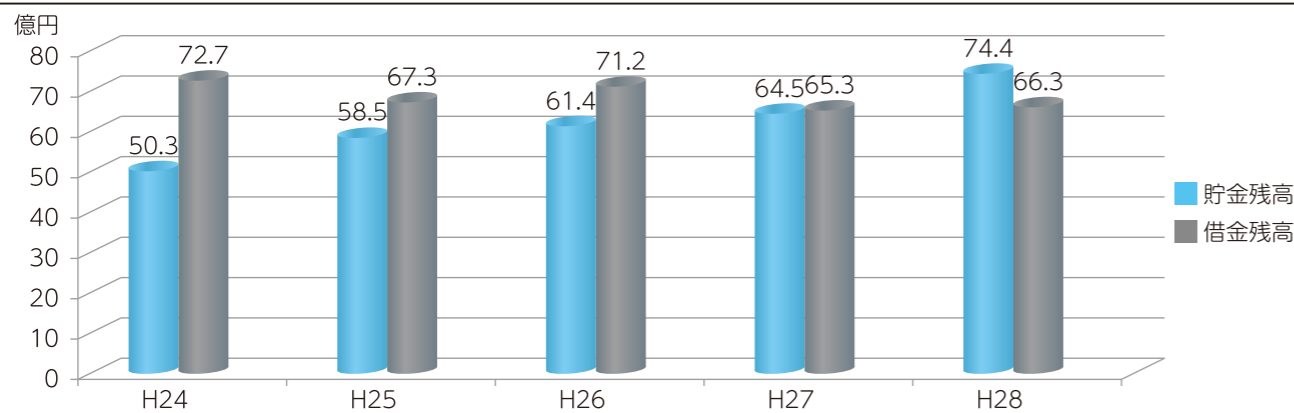
過去5年間の一般会計の収入と支出の推移 ～毎年黒字を維持しています～



～ポイント！～

・平成28年度は、2ページの「ポイント！」で記載した貯金の積み立てを行ったため、収入・支出共に例年よりも大きくなりました。貯金の積み立て以外の収入・支出は例年と大きく変わりません。

過去5年間の全会計の借金と貯金残高の推移 ～貯金が借金を上回りました～



財政指標

指 標	健全化判断比率				資金不足比率
	実質赤字比率 一般会計の赤字の割合	連結実質赤字比率 全会計通算の赤字の割合	実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	将来負担比率 将来の負担になる借金の割合	
早期健全化基準 ※	15%	20%	25%	350%	20%
新十津川町の比	—	—	△ 0.7%	—	—
説明	赤字がないため「—」と表示しています。	赤字がないため「—」と表示しています。	健全な水準です	償還財源が、借金残高を上回ります	赤字がないため「—」と表示しています。

※この数字を上回ると財政健全化への取り組みが必要になります。

～ポイント！～

・「健全化判断比率」と「資金不足比率」は、まちの財政状況が悪くないかを確認するための指標であり、公表することが法律によって義務付けられています。
 ・新十津川町は、全ての会計で赤字はありません。また、将来支払わなければならない負債も無理なく返済できる金額となっています。平成27年度は、実質公債費比率が北海道の市町村で一番低い比率となりました。

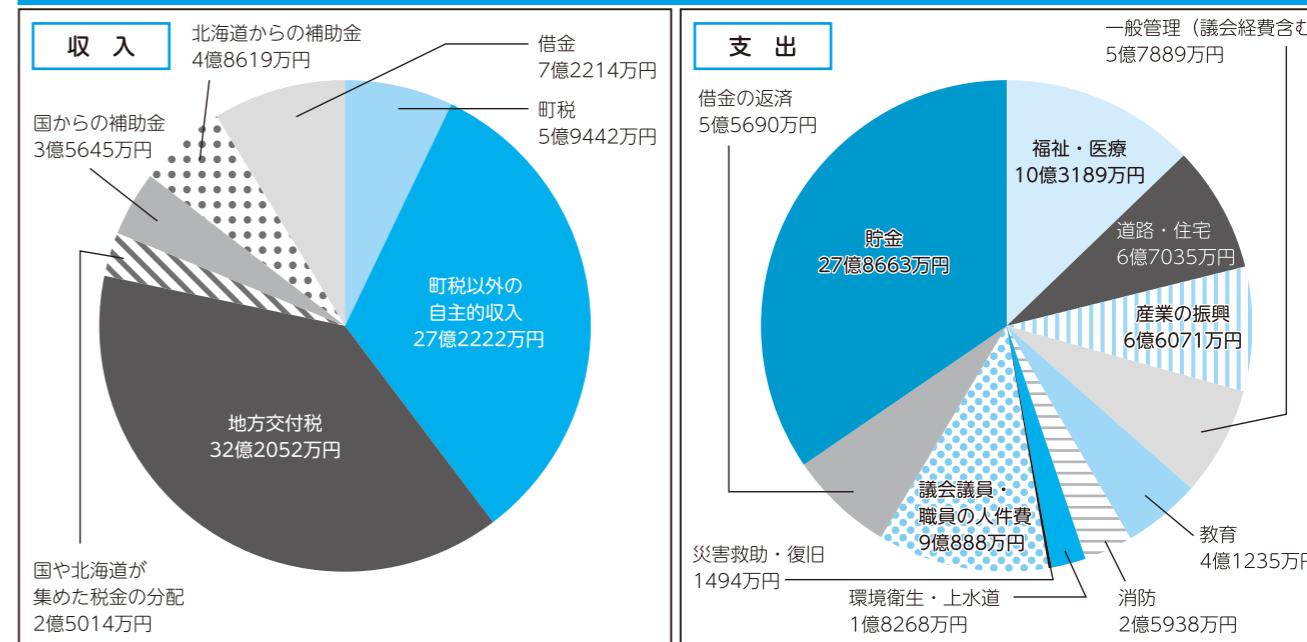
平成28年度の決算について

町では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えしています。
 ここでは、町の平成28年度決算の概要をお知らせします。

平成28年度各会計決算額

会 計	収 入	支 出	差 引	
一 般 会 計	83億5208万円	80億6360万円	2億8848万円	
特別会計	国民健康保険	4億1277万円	4億888万円	389万円
	後期高齢者医療	1億287万円	1億286万円	1万円
	下水道事業	1億9549万円	1億9549万円	0円
	農業集落排水事業	3342万円	3342万円	0円

一般会計の収入と支出の内訳



～ポイント！～

【収入】

・町税と町税以外の自主的収入(施設の利用料など)を合わせて「自主財源」と呼びます。自主財源の割合は約4割となっており、残りの約6割が自主財源以外の国や北海道から受ける「依存財源」に頼っている状況です。しかし、依存財源の大部分を占める地方交付税は、町が自由に使える財源であるため、「自主財源の割合が低い=財政状況が厳しい」ということではありません。

【支出】

・貯金の割合が約3割となっていますが、今まであった貯金の一部を一度収入として受け入れた上で、目的別(公共施設整備や新庁舎建設など)に貯めている貯金に積み立てしたためです。
 ・その他の主な支出は、4ページからの「平成28年度実施の主な事業」をご覧ください。

■問合せ：総務課財務・情報グループ ☎76-2131